

# 病虫害発生予察指導情報

## (ナシ・ニセナシサビダニ No.5)

令和6年7月3日  
鳥取県病虫害防除所

### 1. 情報の内容

6月下旬現在、ニセナシサビダニの発生時期は平年に比べて早く、発生量はやや少ない。

### 2. 情報の根拠

- (1) 6月下旬現在、県予察ほ場（園芸試験場、殺ダニ剤無散布）におけるニセナシサビダニの葉当たり個体数は688.6頭（平年：861.4頭）で、平年に比べてやや少ない（表1）。

表1 ニセナシサビダニの発生活長（園芸試験場、殺ダニ剤無散布ほ場）\*

| 月・旬 | 本年**  | 平年*** |
|-----|-------|-------|
| 5・上 | 183.0 | 4.0   |
| 5・中 | 250.8 | 27.6  |
| 5・下 | 622.2 | 195.7 |
| 6・上 | 999.2 | 585.5 |
| 6・中 | 723.6 | 682.1 |
| 6・下 | 688.6 | 861.4 |

\*：殺ダニ剤無散布ほ場、1葉あたり寄生個体数（3樹10葉調査）

\*\*：R3年度より調査樹を変更

\*\*\*：平年値は過去6年（H30年～R5年）の調査結果から算出

### 3. 防除上注意すべき事項

- (1) 密度増殖が著しい種（ハダニ類、サビダニ類など）は、発生初期の防除（初期密度の低い時点での防除）が重要である。また、ニセナシサビダニ被害の多少は新梢停止期の早晩の影響が大きい。
- (2) 新梢の停止期が遅く、ニセナシサビダニの被害が増加するような場合は追加防除を行う。

(参考)

慣行防除ほ場（5月23日にモベントフロアブル2,000倍液、6月14日にハチハチフロアブル2,000倍液を散布）におけるニセナシサビダニの発生活長

表2 ニセナシサビダニの発生活長（園芸試験場、慣行防除ほ場）\*

| 月・旬 | 防除区 | 無散布区  |
|-----|-----|-------|
| 6・上 | 0   | 999.2 |
| 6・中 | 0   | 723.6 |
| 6・下 | 0   | 688.6 |

\*：1葉あたり寄生個体数（3樹10葉調査）